

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年2月18日

事業所名：通園みらい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		人数に応じた場所の使い方を考慮している。	教材や遊具の置き場スペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		現状の職員でやりくりしている。	職場全体で各クラスの人員配置を検討しているが、事務仕事をすると時間が削られるので増員が必要。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		現状の資源の中で何かと工夫している。	施設・設備が老朽化しているので、改善できるところからしていきたい。バリアフリー化されていないところがあるので改善したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		快適に過ごせるよう、物の配置等を工夫している。	施設・設備が老朽化しているので、改善できるところからしていきたい。子ども用トイレの小便器を改善したい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員会議・ケア会議、毎日のミーティングで振り返りを行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向を把握し、業務改善に繋げていきたい。保護者の方々のニーズを聞く場を提供している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			十分とは言えない。今後改善していきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者による外部評価をまだ実施できていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		都合のつく限り確保している。	コロナウィルス感染症が収束すれば、他の施設での研修等積極的に行いたい。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員同士の話し合いの場を積極的に設けている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			今後検討していきたい。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			職員同士の話し合いの場を積極的に設け、定期的に振り返りをしながら新しい支援内容を検討している。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		常に支援計画を見据えた支援が出来るよう、心がけている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		定期的に全員で見直しをしている。	

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		日々の振り返りを大切にしながら固定化しないよう工夫している。	
	16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		できる限り状況に応じて作成している。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		前日の反省など毎朝で確認し気をつけている。	各自、役割分担や支援内容を確認している。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日の振り返りを大切に、次に繋げている。	終わりのミーティングで、次の日の予定について確認している。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日記録し、支援の検証・改善に繋げている。	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		実施している。	できるだけ短いサイクルで行えるように見直したい。
	22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか				
関係機関や保護者との連携関係	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		園長・児童発達支援管理責任者、主任を中心に参加している。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		市町の保健師さん等と連携を密にしている。	
	25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等訪問事業等で連携している。	連携はとれているが今後改善できるところはしていきたい。
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保育所等訪問事業等で連携している。	連携はとれているが今後改善できるところはしていきたい。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	(放課後等デイサービスのみのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	31	(放課後等デイサービスのみのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		アドバイザーに定期的に助言を頂いている。	連携を密にし、研修の機会をできるだけ多くしている。
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			今年度は、コロナウイルス感染症の影響で出来なかった。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		積極的に参加している。	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		共通理解が得られるよう、根気強く話し合いを持っている。	定期的に保護者との交流の場を確保できるよう努力したい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者学習会をひらいている。	発達相談員や外部の有識者を招いて内容を充実させている。
	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			年度当初に時間を取り説明している。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		個人面談を実施して同意を得ている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎日交わす連絡ノートを通じて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会の役員さんを中心として連携している。	父親との交流が出来るよう考えていきたい。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		体制を整備し、適切に対応している。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月1回の園だよりを発行している。行事ごとに保護者宛に文書を出している。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報に関する文書類については、鍵のかかるロッカーに保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		毎日の連絡ノートや、送迎時に情報交換をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	年に数回地域の高齢者の方と交流をしている。	地域住民との交流はしているが十分とは言えない。

非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを作成し、防災訓練は月1回実施している。地震・津波発生時の対応についてより一層検討していきたい。保護者に対する説明も行いたい。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		入園児に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○		保護者の方と相談しながら対応している。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		その都度、全員で共有し改善を図っている。	毎日のミーティングの中で情報を共有し、次に生かしている。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修の機会をできるだけ多くしている。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、身体拘束を行うような子どもはいませんが、今後必要な場合は以下のようにします。 多動の子どもを危険から守るための対応について、事業所における組織的決定を行い、身体拘束の様態及び時間、やむを得ない理由を利用児や保護者に説明し同意を得て個別の支援計画に記載し、関係者間で共有していく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。